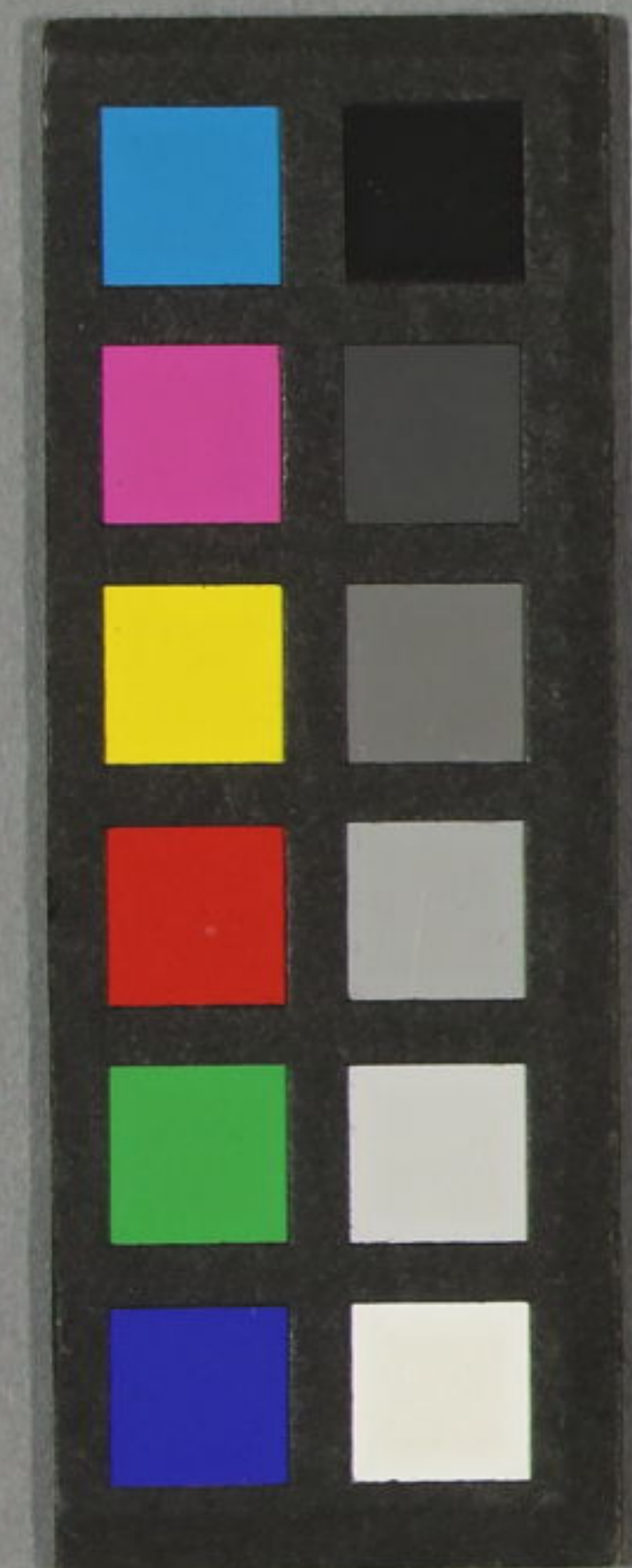
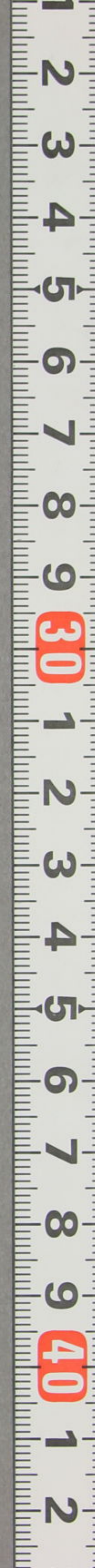


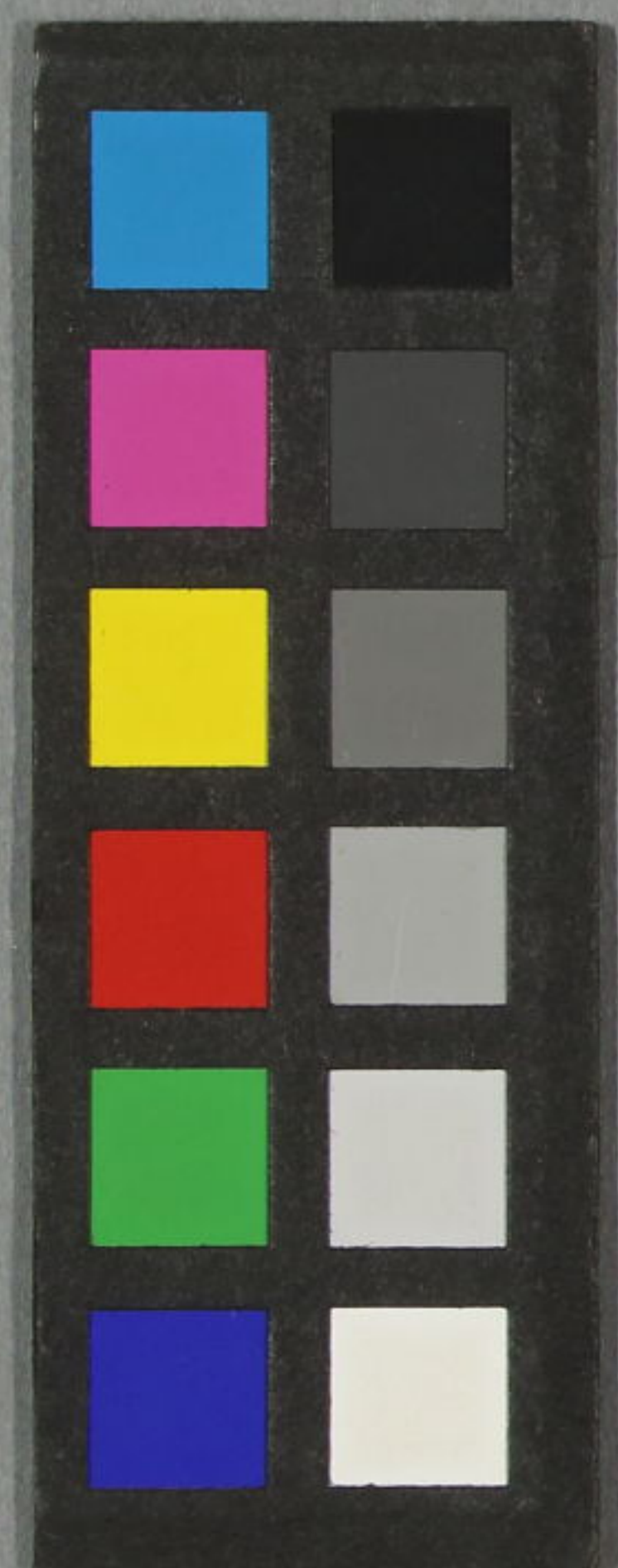


へ 13
3811
24



へ 13
3811
23





見雷也

豪傑

十五

編

種員作

永四

豊國画

実新板



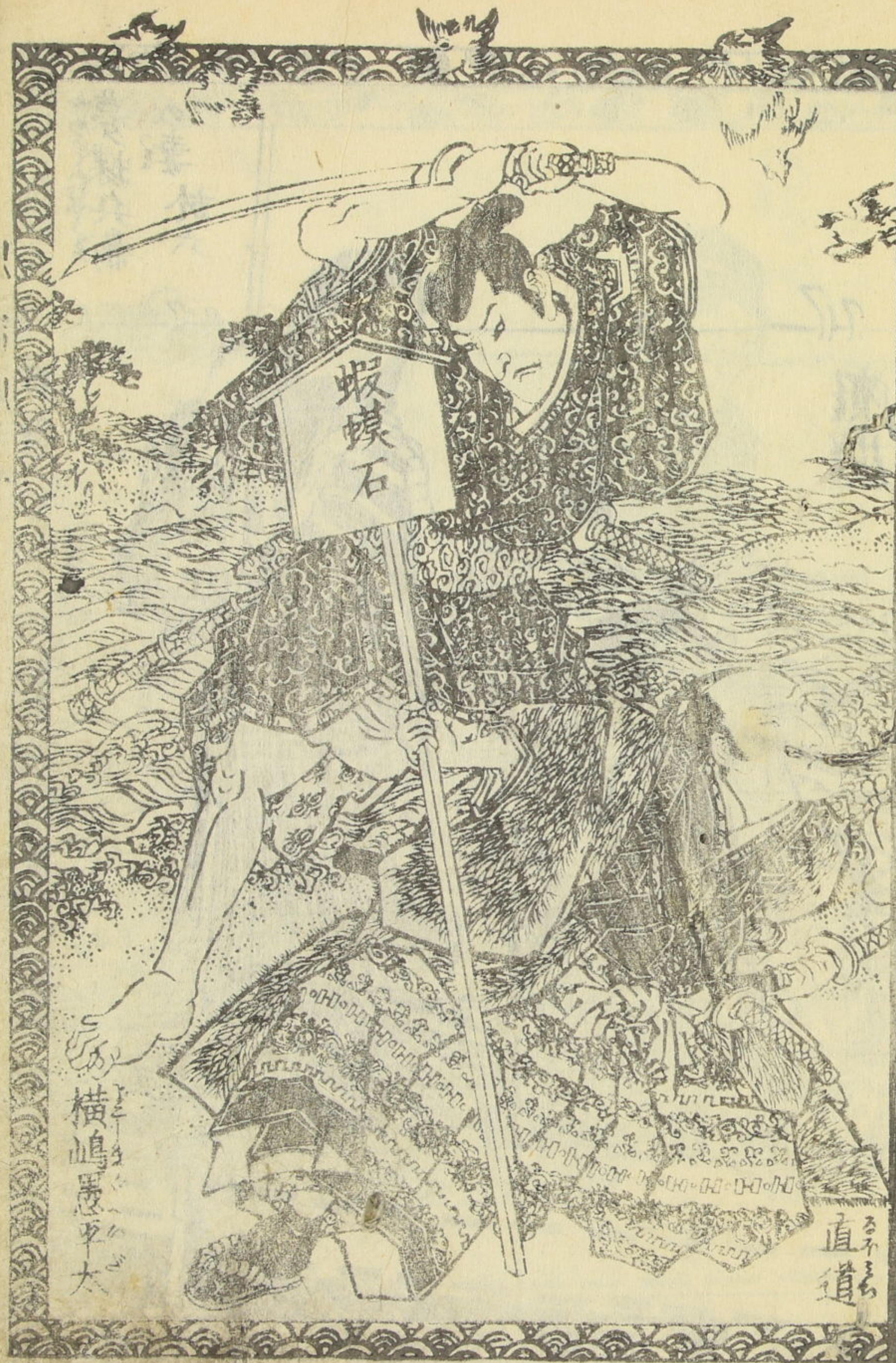
豊田

福

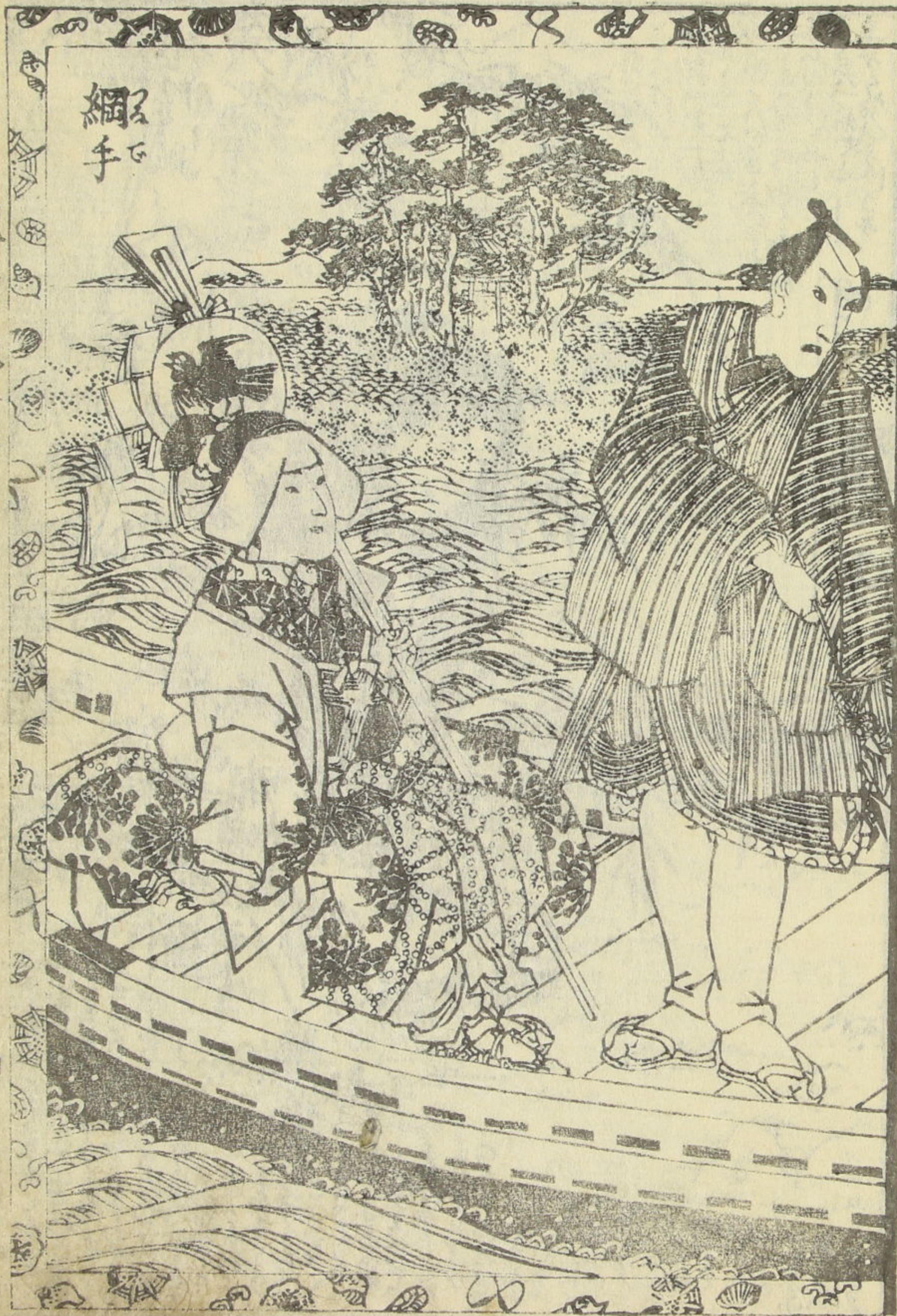
ひとせ愚吟の能風狂句の月夜とてさきと不破の雨彼閑屋る板廂も月
洩宵の風流ひさく時雨の夜枕近記雷の音小寐兼やあつらん已
も好る戯作とて世活として風雅めせど毎度作意ふらくは即ち
松雨夜の不破閑寂れぬる案小困む此書見雷也殊更先達
趣向小妙とてく数編の後僕手ふつて別て新奇の工夫もありき無
據前編より此巻は説續る寐のどうの一段は柳亭翁が二面鏡政
駁英典離人情世態争うらんたたらけの文談閑屋軒の古扇
月の夕も雨の夜も照降すふ出情て後の聊ることも看官の願ふと
とぞと氣根を限り小漸練上不破中にも遠く車返の櫻木小彫つ

嘉永庚戌初春結稿
同 辛史孟陬發兌

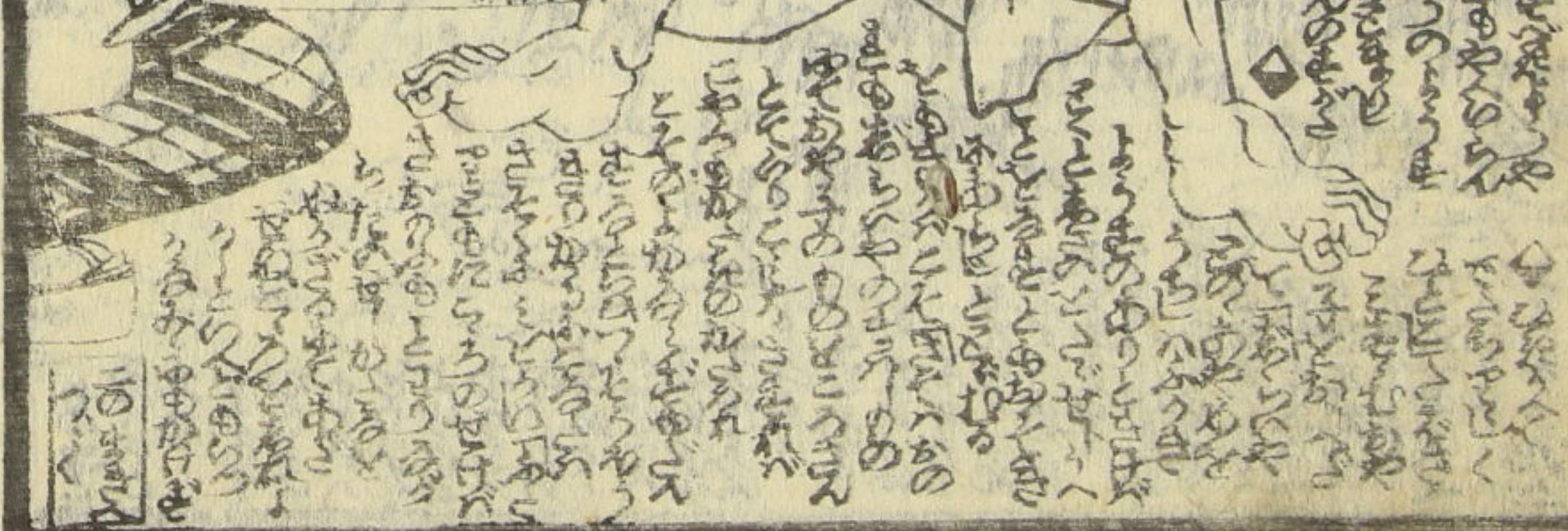
柳下亭種員識









[illegible][illegible]

Text in the top section of the right page, written in vertical columns.



Text in the bottom section of the right page, written in vertical columns.

Text in the top section of the left page, written in vertical columns.



Text in the bottom section of the left page, written in vertical columns.

Calligraphy in vertical columns, likely a preface or introductory text, located at the top of the right page.



Calligraphy in vertical columns, likely a preface or introductory text, located at the top of the left page.







種員作豊國画

一休草紙の巻頭の御題目は「一休草紙」といふが、これは一休の草紙といふことであらう。一休は、鎌倉時代末期の禅僧で、臨濟宗の僧侶として知られる。彼の草紙は、禅の教義を通俗的な言葉で説いたもので、後世に大きな影響を与えた。この巻頭には、一休の草紙の由来や、その内容について詳しく説明されている。

この巻頭には、一休の草紙の由来や、その内容について詳しく説明されている。一休の草紙は、禅の教義を通俗的な言葉で説いたもので、後世に大きな影響を与えた。この巻頭には、一休の草紙の由来や、その内容について詳しく説明されている。

嘉永六年癸丑孟春新雕

假名一休草紙

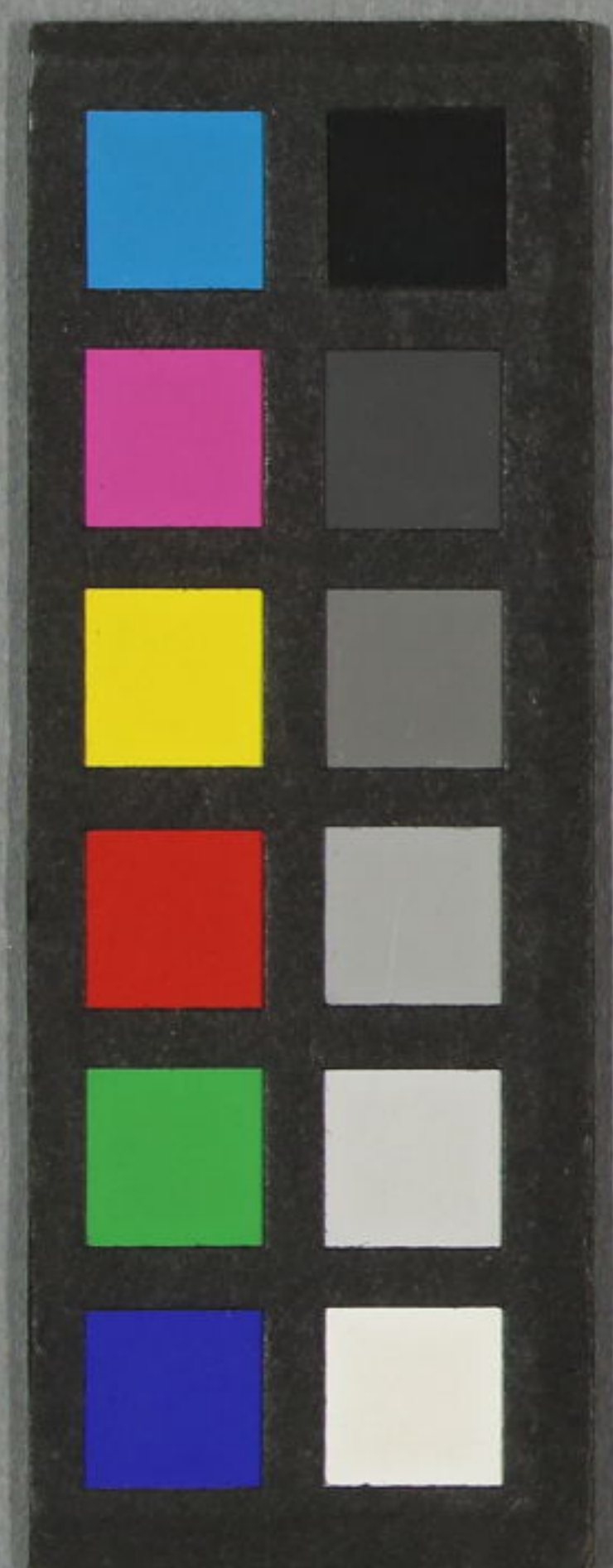
柳下亭種員作
 一雄齋國輝画

五編より五編とある
 女達出板仕

一休の草紙は、禅の教義を通俗的な言葉で説いたもので、後世に大きな影響を与えた。この巻頭には、一休の草紙の由来や、その内容について詳しく説明されている。

芝神明殿 甘泉堂 和泉屋市兵衛板







種
負
化
豊
園
画



十五篇

廿余巻



一、この世に生るるものは
 無常なるものなり。生
 ずるも死するも、老るも
 病するも、苦しみの世に
 生るるものなり。

二、この世に生るるものは
 無常なるものなり。生
 ずるも死するも、老るも
 病するも、苦しみの世に
 生るるものなり。



三、この世に生るるものは
 無常なるものなり。生
 ずるも死するも、老るも
 病するも、苦しみの世に
 生るるものなり。

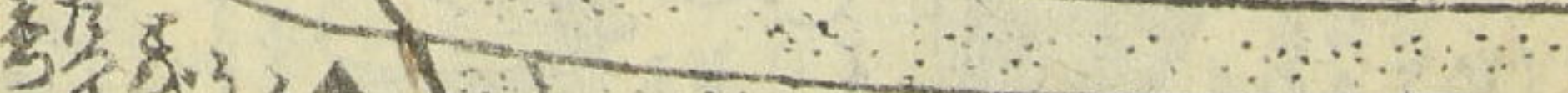
四、この世に生るるものは
 無常なるものなり。生
 ずるも死するも、老るも
 病するも、苦しみの世に
 生るるものなり。

王



民本

[illegible]



[illegible][illegible]

2000



10



つぎにうしろ見とてあらわすの
かゝるてあらわされぬくまを
よもつてあらわされぬくまを
かゝるてあらわされぬくまを
ひつてあらわされぬくまを
このうしろ見とてあらわすの
かゝるてあらわされぬくまを
よもつてあらわされぬくまを
かゝるてあらわされぬくまを
ひつてあらわされぬくまを



禁方 玉童生肌膏 三六九
やけごころを二四のまゝり
おのちのちを二四のまゝり
金瘡 奇功命 三六九
速愈 奇功命 三六九
右二種は海内世に及ば
此他功効最著なり
包みいふなり

種員作豊國画

解とありき
○細手と越路大功を
たつ事と親をたつ事
余の
此の
華を
正
か
看
官
の
寒
を
此
の
話

嘉永六年癸丑孟陬市發目

兒雷也豪傑譚

世一篇 柳下亭種員作
世二篇 一雄齋國輝画
世三篇

今業平草面影

六篇 七篇

祥瑞白菊物語

五篇 六篇

新編金瓶梅全輯

自初編 曲亭馬琴翁作
至十編 一陽齋豊國画
大尾

書肆甘泉堂之神明前 和泉屋市兵衛版

